

サステナブルファッション について考えよう

快適な生活に欠かせない衣服ですが、日本には綿花畑もなく、羊もいません。
化学繊維の原料は化石燃料！ すてきな洋服はどこから来てどこへ行くのか？
それは持続可能(=サステナブル)ですか？ ちょっと考えてみましょう！

日時 9月1日(日)
9:50~12:40(開場9:30)
会場 岡山市立操山公民館
(岡山市中区国富三丁目9-12)

参加費:無料

定員:60名(予約優先)

【プログラム】

1部 9:50~11:30

「ザ・トゥルー・コスト

ファストファッション 真の代償」上映
くわしくはウラ面をご覧ください

2部 11:40~12:40

田賀朋子さんのお話

「セネガル×岡山で発信する、
幸せと可能性を広げるものづくり」



田賀朋子さんプロフィール

矢掛町出身。青年海外協力隊でセネガル共和国に赴任し、2016年に帰国。セネガルの魅力を発信し、途上国との優しく楽しい新しい繋がり方を提案するブランド「jam tun - ジャムタン」を立ち上げ、セネガルとのものづくりを開始。販売のほかワークショップや講演活動にも取り組んでいる。

問い合わせ:E-mail:bokuranomirai39@gmail.com

主催:おかやまエコマインドネットワーク 共催:岡山市立操山公民館

岡山ESDプロジェクト活動支援助成金事業

後援:(公財)岡山県環境保全事業団



お申し込みは

おかやまエコマインドネットワーク E-mail:bokuranomirai39@gmail.com QRコード

岡山市立操山公民館 Tel & Fax:086-271-5030

申込書に必要事項をご記入の上、FAXか公民館にご持参ください。

*電話・E-mailでは①名前②住所③電話番号をお知らせください。



9月1日「サステナブルファッションについて考えよう」申込書

①名前	②住所	③電話番号

THE TRUE COST

あなたの服の本当のコスト 知っていますか？



華やかなファッション業界の裏側 知られざる真実とは？

ザ・トゥルー・コスト ファストファッション 真の代償

トレンドはエシカル&フェアトレード・ファッション
ファッション産業の今と、向かうべき未来を描き出すドキュメンタリー

この数十年、服の価格が低下する一方で、人や環境が支払う代償は劇的に上昇してきた。本作は、服を巡る知られざるストーリーに光を当て、「服に対して本当のコストを支払っているのは誰か？」という問題を提起する、ファッション業界の闇に焦点を当てたこれまでになかったドキュメンタリー映画だ。

(c)TRUECOSTMOVIE

アンドリュー・モーガン監督
メッセージ

ある朝、コーヒーを淹れようとしていたとき、ふと新聞の表紙に載った1枚の写真を見て、胸を打たれました。その写真は、二人の少年が行方不明者のチラシが貼られた大きな壁のそばを歩いているというもの。新聞を手にとると、それは Bangladesh のダッカ郊外の縫製工場で起こった倒壊事故の話で、死者千人以上、負傷者数千人という大きな事故でした。倒壊した当時、工場は欧米の大手ブランド向けに衣服を生産していました。私は間もなく、こういった悲劇がこれだけにとどまらないことを知りました。

アメリカで生まれ育った私は、自分の衣服がどこから来るかを深く考えたことは一度もありませんでした。しかし、ブランドの裏側にいる人々やその現場について学び始めると、そこにあった現実には衝撃的なものでした。ファッションは労働依存度がもっとも高い産業で、世界のもっとも貧しい多数の労働者たちが衣服の生産に従事しており、その多くが女性です。これらの女性の多くが最低限の生活賃金以下の賃金で、危険な労働環境で、基本的な人権さえない状況で働いています。また、こういった労働者の搾取の問題に加え、ファッション産業は石油産業に続いて、2番目に環境汚染の多い産業でもあります。(以下省略)

